

中国 5 県における地域格差及び所得格差による課題を解決し、
暮らし続けられる地域をつくる事業

公 募 結 果

■ 概要

選考結果	採択
団体名	特定非営利活動法人子どもシェルターモモ
代表者名	理事長 東 隆司
申請事業名 主題	児童養護施設等を退所後に困難を抱えた若者支援の充実・強化事業
申請事業名 副題	
エリア／テーマ	【岡山県エリア】 貧困や虐待の被害にある子どもたちの生活再建拠点目的とする拠点整備
解決すべき社会課題	【領域】 1) 子ども及び若者の支援に係る活動 2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動 【分野】 ① 経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援 ② 日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援 ③ 社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援 ④ 働くことが困難な人への支援 ⑤ 社会的孤立や差別の解消に向けた支援 ⑥ 地域の働く場づくりの支援 ⑦ 安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援
申請事業の概要	虐待などが理由で児童養護施設や自立援助ホームで育った子どもたちの施設退所後のアフターケアの必要を感じ、事業を始めて10年目を迎えます。事業を継続していく中で虐待のトラウマの根深さ、支援の困難さを思い知らされています。アフターケアの拠点として当法人の事務所と併設して行っていますが、対象人数が増え、それぞれが抱える課題が増えてくるにつれ、現在の場所では手狭になり、事務所機能と支援機能を分離する必要性が見えてきました。また居場所機能の拡充や、就労困難な若者への訓練の場の必要性も見えてきました。このたびの「休眠預金」で不動産を取得し、拠点を整備し、一人一人に見合った支援の拡充と強化を図ることにより、貧困の連鎖を減らしたいと考えます。
事業実施地域	岡山県
申請事業期間	資金提供契約締結日より2023年3月まで
申請助成額	18,403,200 円

■ 審査コメント

- ✓ 申請団体は、児童養護施設などを退所した後の、自立が困難な若者に対して支援活動を長年行ってきた実績があり、弁護士が中心となり、本事業の対象者となる子供に、担当の弁護士がついて活動を行っているところは本団体の特徴であり、活動は大いに評価できる。
- ✓ 18歳になった子供たちに施設を退所することが求められることから、退所時の支援や退所後の支援は重要な課題である。本団体は、他のNPOと連携して、アフターケア相談所「en」を開設しており、岡山市の委託事業として「アフター事業」を実施しており、行政機関との連携もなされている。
- ✓ 新たなアフターケアの拠点施設で、居場所以外に、学習や就労支援を強化しようとする本事業の計画は、妥当であり、課題解決に一步前進できる期待がもてる。
- ✓ 関連機関との連携もはかられており、社会福祉法人格の取得も考えられており、今後の事業に計画性・継続性があることも評価できる。
- ✓ 解決すべき社会課題が妥当です。過去3年の利用実績等から休眠預金を活用する意義は大きいと考えます。
- ✓ 設立から10年を超え、社会的評価から多くの団体から助成金を得ている点は評価できます。2020年度は橋本財団から150万の助成予定です。
- ✓ 事業内容から生活に困窮している利用者から利用料は徴収できないため、行政の委託費、民間助成金が運営に大きく影響があります。
- ✓ これまで取り組まれてきた事業は、社会的に大きな意義のある取り組みであることが理解できた。SDGsの1. 4. 5. 6. 18それぞれの理念に地域社会において通底する有意義な活動と考える。
- ✓ また、課題の状況に対して、その解決に取り組む上での自主財源、マンパワー、設備等のリソースが不足している状況についても、データに基づく資料として整理されており、よく理解できた。
- ✓ その上で、アフターケア事業においては、利用から利用料徴収ができないことから、拠点整備により、『独自に資金を生み出す必要性』を取り組みの方向性としており、この方向性も妥当なものと思う(様式2(3)参照)。
- ✓ 3つのエリア又岡山県エリアのテーマ、解決すべき社会の諸課題、実行団体に期待する活動概要とマッチしている。(行政も支援しにくい領域で、十分な支援活動が難しい状況)
- ✓ 本事業のアウトプット・アウトカムも、一人ひとりの暮らしや未来を支えるというイメージがうかがえる。
- ✓ 十分な経験とネットワークを有しており、実行可能性、多様な団体の参加、協働連携、対話ができる。
- ✓ 事業を通じて課題解決モデルの構築、又はノウハウを類似の課題を抱えている他地域の団体に移転を期待する。
- ✓ 児童養護施設は18歳で退所しなくてはならないという問題がある。大学進学の道も多少できたが、基本は就職することが多い。そして就職ができないと親と同じようになる。そういったテーマに向き合う子どもシェルターモモの活動は共感できる。一人ひとりに弁護士が付くなども高く評価できる。
- ✓ 申請書を読んで非常に勉強になった。弁護士が寄り添っていることも高く評価できる。
- ✓ 申請書が良くまとめられておりわかりやすかった。
- ✓ 自立援助にとってゴールが見えていることは重要。そこを示してあることが素晴らしい。

- ✓ この事業収益をあげるための機能としては、就労支援機能(様式2・4(1)参照)が該当する機能と考えるが、具体的な収益事業やその仕組みについての記述がない点が気になった。
- ✓ こうした公益性の高い事業で収益事業を展開することは難しい面があるが、マンパワーを充実させ、持続可能な展開をすすめる上では、その挑戦は意義があると思う。
- ✓ 事業全体として地域の社会課題解決に向けてのインパクトが見込めるだけに収益事業の具体的な展望と仕組みについて一歩踏み込んだ検討を期待したい。